

ドキュメンタリー「袴田巖」を
撮影中の映画監督

キム
金
ソウン
聖雄さん(51)



一九六六年に静岡市清水区で、みそ会社役員一家四人が殺害、放火される事件があった。この事件で死刑判決を受け、昨年、静岡地裁の再審開始決定で釈放された袴田巖さん(七九)は浜松市中区と、同居する姉秀子さん(八三)の日常を追った映画「袴田巖」を撮影中だ。「袴田さんは一貫して裁判で無罪を訴えてきた。四十八年間も拘禁され、死刑執行の恐怖におびえながらの生活は想像つかない」。昨

この人

年五月からカメラを回し、来年春に全国で公開予定だ。

コリアンタウンの大阪・鶴橋生まれの在日韓国人二世。これまで在日コリアンや障害者のドキュメンタリー映画などを製作してきた。「外国人として自分は何者だろうと存在の不確かさを感じてきた。同じようにしんどい立場で踏ん張って生きている人がすてきに思える」

映画「袴田巖」では、「事件の真相よりも、釈放後の袴田さん姉弟の静かな時間のかげがえのなさを伝えたい。ボディブローのように後から効いてくる映画になれば」と話す。

製作費をネット上などで募っている。ホームページは「袴田巖プロジェクト」で検索。(池田知之)